



# ★羅針盤 No.30

**東港金属株式会社**  
東京都大田区京浜島2-20-4  
電話 03-3790-1751  
URL <http://www.tokometal.co.jp>  
(見学受付)  
電話03-3790-1751 又は 各営業担当

9月も猛暑がおさまらないだろうとの予報です。また、北極海の氷の面積が今年は観測史上最速のペースで縮小していることが、宇宙航空研究開発機構の観測で分かったそうです。

氷の面積が減ることで、氷上でのアザラシ狩りが困難になってきたホッキョクグマが減少しているとの報道は以前からありますが、過日は回転寿司屋の人気ネタである「エンガワ」が消えるのではという話が出ていました。エンガワの原料となっているカレイは冷たく過酷な環境の北極海などで主に生息しているようですが、産地であるグリーンランドでは、表面を覆う氷の97%が温暖化の影響によって溶けてしまい、その影響からカレイの漁獲量は減り、サイズも小さくなり、将来なくなってしまうかもしれないというのです。

一方、米国ではトウモロコシ収穫量が、重要な受粉期に深刻な干ばつや高温に見舞われたことが響いて、過去10年で最低水準となっているそうです。食料資源も不足しつつあります。地球はひとつであり、地球の裏側の事象も確実に自分の身の回りに影響しています。

鉱物資源も同じように希少価値です。なくならないように丁寧に循環させなければなりません。東港金属は廃棄物資源を有効利用するため、毎年僅かでもリサイクル率を上げる工夫、努力を続けています。非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物等、身近なりサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



## ★羅針盤

## 鉄・非鉄スクラップ・市況からの9月予測

営業部 Y の考察



**鉄スクラップ** → 考察) 8月になりやっと動きました。東京製鉄宇都宮工場の特級価格が、26,500円/トンでスタートしたあと、1,000円単位の上げ下げがあり、最終的には、1,000円上げて27,500円/トンになりました。9月に関しては、鉄鉱石の価格の下げや、中国の鉄価格の下げ等、良い話は聞こえてきません。さらに下がると思われます。



**銅** → 考察) 8月は、LME7,580ドル/トン、また国内銅建値は、630,000円/トンでスタート。上げ下げを繰り返し、最終的には7,570ドル/トンとほぼ変わりませんでした。国内銅建値は、640,000円/トンで終わりました。9月に関しては、国際商品が上昇傾向にあるため、多少ではありますが、上げが見込まれます。

**アルミ** → 考察) 8月は、銅と同様にLME1,860ドル/トンでスタートし、8月末時点では、1,840ドル/トンと変わりなし。9月は、精錬各社の減産が予想され、上げは見込めない為、多少ではあるが下がると思われます。

**プラスチック** → 考察) ペットボトルなど相場が下がっていますが、そろそろ下げ止まりと思われれます。しかし輸出の中心である、中国では品物がだぶ付いていることから価格の上げは期待できません。9月は横ばいと思われれます。



8月予測の自己評価	
鉄スクラップ ×	アルミ ○
銅 ×	プラスチック ○

## ★羅針盤

## 小型家電リサイクル法

(使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律)

使用済みの小型電子機器のリサイクルを進めるための「小型家電リサイクル法」が、第80回通常国会で可決・成立しました。早ければ2013年の4月1日に施行される見込みです。

法律の詳しい説明については次の機会にすると、今回は本法律に基づく制度の概要について述べさせていただきます。

本制度は、市町村等が回収した使用済小型電子機器等(以下、「小型家電」といいます。))について、これを引き取り確実に適正なリサイクルを行うことを約束した者を主務大臣が認定し、廃棄物処理法の特例措置を講じるもので、この認定された者を認定事業者と呼び本制度の中で大きな役割を担います。

対象機器としてはデジタルカメラやゲーム機、炊飯器、扇風機、電子レンジ、電動歯ブラシ等々の96品目が候補にあげられております。これら小型家電の4割以上は廃棄物として排出され、多くは一般廃棄物として市町村による処分が行われており、市町村により処分される場合には、鉄やアルミ等一部の金属しか回収できず、金や銅などの有用金属は埋立処分されていると言われております。

認定事業者になろうとする者は、小型家電の再資源化のための事業の実施に関する計画を作成し、主務大臣により認定を受けることができます。

認定事業者は小型家電の再資源化に必要な行為を行うときは、廃棄物処理法に基づく一般廃棄物収集運搬業、一般廃棄物処分業、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可は不要となりますが、収集を行うおとする区域内の市町村から分別して収集した小型家電の引取りを求められたときは、正当な理由がある場合を除き引き取らなければならないとされており、

この法律を主管する主務大臣は環境大臣と経済産業大臣です。その他、本制度の関係者の役割は次の通りです。

1. 国は、必要な資金の確保、情報収集、研究開発の推進、教育、広報活動及び認定事業者の認定。
2. 消費者は、分別して排出、引渡し。
3. 市町村は、分別して収集、認定事業者への引渡し。
4. 小売業者は、消費者の適正な排出を確保するために協力。
5. 製造業者(メーカー)は、設計、部品、原材料の工夫により再資源化費用低減、再資源化により得られた物の利用。

大型家電の処理は、適正処理困難物の処理という生い立ちから始まっており、家電リサイクル法が処理技術の開発等も含めて、再商品化の役割を製造事業者が担う制度となったと言えるでしょう。

一方、小型家電の再資源化については各地でレアメタルの回収等の先進的な取り組み事例も多くあり、小型家電を扱う本制度は市町村が回収し認定事業者が再資源化を図るとされており、

以上

## チャレンジ人生

(第9回)



暑い日が続きますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？  
年々暑い時期が長引くような気がしてなりません。このまま行けば数年後には、冬がなくなるのではないかと馬鹿げたことを思いながら、前回に続き私のつたない話を進めさせていただきます。

今回も、結婚式のエピソードを話です。  
結婚式の披露宴で最も大切なのは何か？ それは、時間の配分です。披露宴の流れは、全て料理の進行を見ながら進めて行きます。

司会をやり始めたころ、挨拶の順番、肩書き等を間違えないようにすることが精一杯で、料理の進み具合を気にせず進行を進め大変なことがありました。来賓の方が司会を行う場合は、会場の人には親切に教えてくれますが、プロ司会者には一切教えてはくれません。

ある時スピーチ、余興も短く、どんどん進行を進め、花束贈呈になった時にふと気付いたら、まだスープを配っていました。「しまった。スープの次にメインの肉、そしてサラダが出て、デザート、生ケーキ、コーヒーとまだまだいっぱいある。」しかし、花束贈呈の準備は進んでいる。新郎新婦は、指定の位置に立っているしご両親も準備万端で涙ぐんでいます。全てを仕切るはずのキャプテンは、新人で頼りにならない。しょうがないので、芸人時代にやっていた漫談で10分繋ぎ、その間に、残りの料理をまとめて出して難を逃れたことがありました。但しこれでは、コースになりません。当然ながら、式場にはお客さんからクレームが入り、翌日かなり叱られました。

音楽としゃべりのタイミングも司会者の重要な仕事です。お客様の中には音楽にこだわるカップルもいます。この場合は大変です。特に最初の入場の時に音が出て1分何十秒後に「入場です。」とアナウンスしてほしい等の注文があった場合、頭の中で秒数を数え、耳で音楽を聴き合わせなければなりません。細かい作業が苦手な私はかなり苦労しました。そのための練習もかなりしました。そのおかげで、式場側は「司会の山本は、どんな手間がかかる要望でも大丈夫ですよ。」などとお客様に言うようになり、面倒くさい仕事が増えるようになりました。しかし、1本のギャラは変わりません。

司会を始めた当時は、ギャラ以外に御祝儀が結構出ました。時には、ギャラの何倍も御祝儀をもらったことも数回ありました。ある有名なゼネコンの社長のご子息と有名な運送会社の御令嬢の披露宴の司会をした時は、両家の両親からそれぞれ頂き、新郎新婦からも頂くなど気づいたら3枚の祝儀袋が手元にありました。おそらく、打合せミスだったのでした。しかし儲かりました。ではまた・・・

(営業部課長 山本 兼嗣)